

柳井市地域公共交通網形成計画の目標に対する達成度の評価・検証について

柳井市地域公共交通網形成計画第8章(P.108)に「目標に対する達成度の評価・検証については、柳井市地域公共交通会議において毎年度行い、必要な改善・見直しを図り、計画を推進します。」と明記しています。

令和4年度においても目標達成度の評価・検証を行うことにより、次年度以降の計画事業の効果的な実施を図ります。

施策の体系

基本的方針	目標	事業
方針1 市民だけでなく来訪者にもわかりやすく、使いたいと感じる公共交通網の形成	目標1 市民の暮らしを支える持続可能な公共交通サービスの実現	事業1-1 都市間幹線の確保・維持 事業1-2 利用者が少なく、路線周辺に空白地が多いバス路線の代替交通への転換 事業1-3 既存バス路線の経路再編及び市街地を循環する公共交通の導入の検討 事業1-4 乗継拠点の整備検討 事業1-5 離島航路の経営安定化
	目標2 誰もが安全・安心・快適に利用できる環境の実現	事業2-1 車両や施設等のバリアフリー化の推進 事業2-2 交通系ICカード導入の検討 事業2-3 列車やバス等の走行位置情報の活用 事業2-4 主要な乗りばにおける案内サインの整備 事業2-5 ターゲットを絞ったマップや時刻表等の情報提供媒体の整備 事業2-6 路線バス、航路データの標準化の推進
方針2 公共交通への市民の理解や関心を高める取組の推進	目標3 公共交通を守り育てる意識の醸成	事業3-1 公共交通の乗り方教室の開催 事業3-2 モビリティ・マネジメントの実施
方針3 市民・事業者・行政・その他関係者が共に担い手の意識を持った移動手段の確保・維持	目標4 幅広い連携による移動手段の維持・確保公共交通ネットワークの再編	事業4-1 免許返納に合わせた公共交通利用促進策 事業4-2 公共交通に携わる運行主体間の連携強化（乗継ダイヤ調整など） 事業4-3 スクールバスの活用の検討 事業4-4 国や県と連携した担い手確保（イベント開催、支援策導入等） 事業4-5 公共交通を活用した観光ルートの構築

事業の実施状況

事業		実施内容	今年度実施状況	次年度以降の取組み
1-1	都市間幹線の確保・維持	<ul style="list-style-type: none"> ダイヤ、乗換えの改善。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年3月12日 JR ダイヤ改正 令和5年3月18日 JR ダイヤ改正予定 	<ul style="list-style-type: none"> 関係自治体と事業者が連携し、利便性向上の取組を行う。
1-2	利用者が少なく、路線周辺に空白地が多いバス路線の代替交通への転換	<ul style="list-style-type: none"> 区域運行や路線不定期運行など新たな交通システムの導入を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年10月1日から日積・石井南部、大島地区に続き伊陸・石井北部地区及び阿月地区で予約制乗合タクシーの運行開始。 	<ul style="list-style-type: none"> 予約制乗合タクシーの利用状況を把握し、利便性の高い持続可能な運行を目指す。
1-3	既存バス路線の経路再編及び市街地を循環する公共交通の導入の検討	<ul style="list-style-type: none"> 利用ニーズの高い医療機関、商店、公共施設を巡回するルート of 構築を検討。 市街地の既存バス路線の循環型交通等への再編を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年10月1日から阿月方面及び伊陸方面のバス路線を変更。 阿月方面：柳井医療センター止へ変更 伊陸方面：上馬皿循環路線へ変更。 	<ul style="list-style-type: none"> 市街地にあるニーズの高い施設へのアクセスについては、予約制乗合タクシーの導入状況と合わせ、どのような公共交通にすべきか今後も検討を進める。
1-4	乗継拠点の整備検討	<ul style="list-style-type: none"> 乗継拠点の環境整備について交通事業者との協議。 公共交通をスムーズに乗継できる拠点の設置を検討。 パーク・アンド・ライド等が行えるような環境づくりを検討。 	<ul style="list-style-type: none"> JR 柳井駅の利便性を上げるため、令和4年2月より駅前トイレの供用開始。 JR 柳井駅に新横浜以遠の新幹線往復利用者に向けてパーク・アンド・ライド用の駐車場を設定。 	<ul style="list-style-type: none"> 乗継拠点の環境整備について、交通事業者と検討する。
1-5	離島航路の経営安定化	<ul style="list-style-type: none"> 経費の削減に努める。 ウォーキングツアー開催、情報発信などにより誘客に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 欠損額縮小のため経費の削減に努めている。 令和3年12月に平郡航路公式ツイッターを開設し情報発信に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き経費の削減に努める。 民間団体等と協力しウォーキングツアーの開催や情報発信を行う。
2-1	車両や施設等のバリアフリー化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 駅施設のバリアフリー化。 バリアフリー対応車両の導入を交通事業者へ働きかけ。 平郡航路フェリーのスロープ設置。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年4月に柳井駅のバリアフリー化工事が完了。ホームと電車の段差が一定程度解消された。 令和4年3月12日の JR ダイヤ改正に 	<ul style="list-style-type: none"> 柳井港駅、大島駅の施設のバリアフリー化についても要望を行う。

			<p>合わせて柳井駅に停車する 227 系の車両が 2 往復から 6 往復に増便。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・へぐりの車両甲板から 1 階客室へ向かう通路にスロープを設置。 	
2-2	交通系 IC カード導入の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・交通系 IC カード導入の働きかけ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年 3 月に柳井市内 JR 駅に交通系 IC カード (ICOCA) 導入。 ・防長交通が運行する市内バスについて、令和 4 年度から 2 か年かけて導入を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通系 IC カード導入について PR を行う。
2-3	列車やバス等の走行位置情報の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・JR 西日本列車走行位置情報の周知。 ・バスロケーションシステムの周知。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内各バス停に QR コードを付したステッカーを表示。 ・周東総合病院玄関前に案内ディスプレイ設置。 ・防長交通(株)HP で PR 実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・列車走行位置情報、バスロケーションシステムの PR に努める。
2-4	主要なのりばにおける案内サインの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい路線図、時刻表の掲示。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者との協議を踏まえ検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい路線図、時刻表の掲示について事業者と協議する
2-5	ターゲットを絞ったマップや時刻表等の情報提供媒体の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通及び周辺地域へのアクセスが一目でわかるマップの作成。 ・乗継が円滑にできるような時刻表の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年 4 月より柳井市公共交通総合時刻表を作成。乗換えが円滑にできるように作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイヤ改正に合わせて時刻表を更新し、より見やすい時刻表となるようレイアウトの工夫に努める。
2-6	路線バス、航路データの標準化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・標準的なバス・航路情報フォーマットによる情報整備を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Google マップにバス情報を表示させるためのバス・航路情報フォーマット (GTFS) を作成中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きバス・航路情報フォーマットを作成し、Google マップの検索に表示させるように整備する。
3-1	公共交通の乗り方教室の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生を対象に公共交通の乗り方教室を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの状況を見ながら開催について検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校に働きかけて公共交通の乗り方教室を実施する。
3-2	モビリティ・マネジメントの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・柳井市への転入者を対象に公共交通の情報提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ・柳井市役所においてノーマイカーデーを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な媒体を活用し公共交通の情報提供を行う。

		<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校入学予定者に学校までのアクセス情報の提供。 ・市内事業所へ公共交通の情報を提供。ノーマイカーデーの実施。 		
4-1	免許返納に合わせた公共交通利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・免許返納の際、公共交通に関する情報を提供。 ・割引を受けられる事業所の増加を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年11月よりお出かけサポート事業（バス、タクシー、平郡航路共通助成券交付）実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お出かけサポート事業等、公共交通に関する情報提供を行う。
4-2	公共交通に携わる運行主体間の連携強化（乗継ダイヤ調整など）	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者の協力、連携により接続の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年3月12日 JR ダイヤ改正 ・令和4年10月1日防長交通バス路線ダイヤ改正 ・令和5年1月10日 JR ダイヤ改正予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者の協力により接続の改善を図る。
4-3	スクールバスの活用検討	<ul style="list-style-type: none"> ・代替交通へ転換する地区を対象にスクールバス活用の可能性を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予約制乗合タクシーの利用促進を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き予約制乗合タクシーの利用促進を進める。
4-4	国や県と連携した担い手確保（イベント開催、支援策導入等）	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の担い手確保のイベントの開催支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山口県等の主催により公共交通担い手確保ミニフェアを開催。 ・柳井地区合同就職フェアを令和4年8月23日に開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の担い手確保のイベントの開催を支援する。
4-5	公共交通を活用した観光ルートの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を活用した観光コースの設定。 ・公共交通を利用したウォーキングの開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・柳井につぼん晴れ街道協議会と柳井市観光協会の共催による公共交通を利用したウォーキングイベントを開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を活用した観光コース設定について関係団体と協議を進める。 ・公共交通を利用したウォーキングイベントを継続的に開催。

評価指標

目標 1 市民の暮らしを支える持続可能な公共交通サービスの実現

評価指標	実績値				目標値
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 6 年度
JR 乗車人数（柳井駅、柳井港駅、大島駅の合計）	867,945 人 （令和 2 年度）	862,234 人 （令和 3 年度）	—	—	1,070,000 人
公共交通の利用不便区域（※ 1）の人口割合	32.5% （令和 3 年 10 月 1 日）	28.4% （令和 4 年 10 月 1 日）	—	—	27%
路線バスの維持にかかる市民一人あたりの市財政支出額（※ 2）	1523 円／人 （令和 2 年度）	1,233 円／人 （令和 3 年度）	—	—	800 円／人
【参考指標】予約制乗合タクシーの維持にかかる市民一人あたりの市財政支出額（※ 3）	20 円／人 （令和 2 年度）	131 円／人 （令和 3 年度）	—	—	—
新たな交通システム（予約制乗合タクシー）の収支率	23.9% （令和 3 年度）	24.3% （令和 4 年度）	—	—	40%
路線バス（みなし 4 条路線）及び新たな交通システム（予約制乗合タクシー）の利用者（合計）	22,830 人 （令和 2 年度）	17,108 人 （令和 3 年度）	—	—	29,465 人
平郡航路の輸送実績	15,302 人 （令和 3 年度）	18,079 人 （令和 4 年度）	—	—	25,000 人

※ 1 駅より 800m 圏、バス停より 300m 圏、バス自由乗降区間より 300m 圏、船着場より 800m 圏及び予約制乗合タクシーが運行する区域の全域を交通サービス圏内とし、その圏外の区域。

※ 2 路線バス事業者への市補助額を国勢調査の人口で除した額。

※ 3 予約制乗合タクシーの運営団体への市補助額を国勢調査の人口で除した額。

【参考】

- ・令和 3 年度における予約制乗合タクシーの運営団体への市補助額：4,064,910 円
- ・令和 3 年度における予約制乗合タクシーの運行事業者への国庫補助額：1,381,000 円
- ・令和 3 年度における路線バスの運行事業者への市補助額：37,991,590 円

目標2 誰もが安全・安心・快適に利用できる環境の実現

評価指標	実績値				目標値
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度
公共交通の乗り方教室の開催数	0回	0回	—	—	10回 ※5年間の延べ回数
モビリティ・マネジメント実施事業所数	1事業所	1事業所	—	—	10事業所

目標3 公共交通を守り育てる意識の醸成

評価指標	実績値				目標値
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度
公共交通を活用した観光ルートの考案数	4案 延べ4案	5案 延べ9案	—	—	10案 ※5年間の延べ数

目標4 幅広い連携による移動手段の維持・確保

評価指標	実績値				目標値
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度
防長バス平生営業所管内を走るバスのバリアフリー化率	82.1%	82.1%	—	—	90%
バリアフリー化されたJR駅の数	1/3駅	1/3駅	—	—	1/3駅
交通系ICカードの利用できるJR駅の数	0/3駅	3/3駅	—	—	3/3駅